

2021 年度 事業報告書

2021 年 4 月 1 日から

2022 年 3 月 31 日まで

福島県西白河郡矢吹町本町 216 番地

公益財団法人 会 田 病 院

2021 年度 事業報告書

I. 法人の概況

1. 設立年月日

昭和 28 年 1 月 20 日設立

2. 定款に定める目的

本公益財団法人は、医療機関及び介護・福祉関連事業の運営を通して、地域が必要としている医療及び介護・福祉の機会確保に寄与すると共に、これらの質の向上に資する事業を展開し、地域住民の健康保持増進並びに社会福祉の向上に貢献することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① 救急医療及び地域に不可欠な医療を提供する事業
- ② がん治療等、高度先進医療を提供する事業
- ③ 胸部疾患に関する事業
- ④ 予防医療活動並びに健康増進を啓蒙する事業
- ⑤ 訪問診療・訪問看護・訪問介護を提供する事業
- ⑥ 通所リハビリテーション・ヘルパー事業
- ⑦ 老人及び障害者等へ介護・療養の環境を提供する事業
- ⑧ 保健・医療・福祉に関わる専門職の資質向上を支援する事業
- ⑨ 医師及び看護師その他医療従事者の育成事業
- ⑩ その他本法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

福島県 保健福祉部 地域医療課

5. 主たる事務所

福島県西白河郡矢吹町本町 216 番地

6. 役員等に関する事項（3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理 事 長	会 田 征彦	常 勤	代表理事・院長
副 理 事 長	会 田 北 斗	常 勤	業務執行理事・副院長
専 務 理 事	会 田 美代子	常 勤	業務執行理事・事務統括
理 事	小 池 莊介	常 勤	副院長
理 事	河 野 知典	常 勤	副院長
理 事	星 野 正美	常 勤	副院長
理 事	竹 田 秀	非常勤	(一財)竹田健康財団 理事長
理 事	星 北 斗	非常勤	(公財)星総合病院 理事長
理 事	飯 田 雄大	非常勤	稲志法律事務所 弁護士
監 事	加 藤 栄一	非常勤	加藤栄一事務所 司法書士
監 事	三 部 吉久	非常勤	三部会計事務所 税理士

評 議 員	滝 田 康雄	非常勤	東北アルフレッサ(株) 代表取締役会長
評 議 員	坂 本 忠雄	非常勤	元白河市立 五箇小校長
評 議 員	水 戸 勘十	非常勤	(株)未来制御 代表取締役
評 議 員	浅 川 誠吾	非常勤	(株)浅川電設 代表取締役
評 議 員	松 山 真一	非常勤	まつやまクリニック院長
評 議 員	中 島 伊津子	非常勤	(社福)恵愛福祉会特別養護 老人ホーム寿光園 園長
評 議 員	福 田 篤志	非常勤	(株) 那須環境技術センター 代表取締役

7. 職員に関する事項

○2022年3月31日現在の職員数は次の通りである。

- ・総職員数 344名
- ・常勤職員 268名（平均年齢 40.5歳・平均勤続年数 8.5年）
 - 男 性 83名（平均年齢 40.2歳）
 - 女 性 185名（平均年齢 40.6歳）

常勤内訳：理事1名・医師10名・看護師72名・准看護師24名
介護支援専門員4名・介護福祉士30名・ヘルパー8名

看護助手 3 名・薬剤師 6 名・臨床検査技師 7 名
診療放射線技師 5 名・理学療法士 24 名・作業療法士 11 名
言語聴覚士 6 名・臨床工学技士 5 名・管理栄養士 4 名
医療ソーシャルワーカー 3 名・医療事務 14 名
医師事務作業補助者 1 名・一般事務 24 名
ボイラー技士 2 名・運転手 2 名・その他補助者 2 名

・非常勤職員 76 名

非常勤内訳：医師 48 名・看護師 8 名・准看護師 3 名・介護福祉士 3 名
ヘルパー 2 名・看護助手 1 名・臨床検査技師 1 名
管理栄養士 1 名・医療事務 2 名・一般事務 2 名
ボイラー技士 1 名・運転手 4 名

8. 許認可に関する事項

- ・2022 年 2 月 18 日付で会田病院ヘルパーサービスの廃止の届出提出。
(但し、廃止日は 2022 年 5 月 1 日)

II 事業の状況

1. 事業概況

2021 年度の概況

2021 年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、再三にわたる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出により、景気の停滞を余儀なくされてきた。2022 年に入ってから、オミクロン株の拡大やウクライナ侵攻問題、さらには円安、物価上昇と景気回復はさらに腰折れとなり、当面の停滞状況は否めない状況と推察。

2021 年度の国内の大きなイベントとしては、1 年延期された東京オリンピック・パラリンピック開催があげられるが、コロナ感染拡大の懸念から、無観客開催という異例の制約の中で 8 月から開催された。10 月の衆議院選挙では、連立与党が過半数の議席を堅持し、岸田新首相に交代となる。

当院においては、2022 年に入っても、終息が見えない新型コロナウイルス感染拡大への感染対策強化を継続、外来トリアージ、黙食や換気の徹底、迅速 PCR 検査の実施、職員への感染対策の周知徹底を継続強化した結果、当院内感染者の発生数は、職員 1 名のみで、入院患者の感染者は 0 人で推移。

又、2021 年 2 月 13 日福島県沖の震度 6 強の大規模な地震被害で改修工事中であった病院建物等は、再び 2022 年 3 月 16 日の深夜に震度 6 強の地震が発生し、追加の被害が拡大したが、診療体制には影響が出ないように職員総出で復旧対応を行った。

このような状況下、当院は、期初から救急応需率の向上に努め、外来患者数、入院患者数ともに前年対比増加となった。今後も感染拡大防止に努め、引き続き地域医療への貢献を図っていく所存である。

2. 部門別事業報告

① 法人本部

当法人は、公益財団法人として、『良質な医療を安全に提供できる病院づくりにつとめ、地域社会に貢献します』を基本理念に目標達成に向けた取り組みを実施した。

人事面では、新たに職員の階層別研修会を 2021 年 9 月に①主任・副主任研修並びに②課長・係長研修、11 月に③新人研修（1 年目～3 年目対象）、12 月に④事務職員研修会（①～③に該当しない職員）以上、4 階層に分けて実施。

この研修会は医師以外の全職種に対して行い、職員の意識改革、スキルアップ向上を図った。

新型コロナウイルス感染対策の一環としては、ワクチン接種の接種率の早期向上に向けて、所管行政と綿密な協力体制をとり、集団接種、個別接種ともに主導的に対応し、地域住民への 3 回目までの接種を積極的に実施。

又、2022 年 4 月の診療報酬改定に向けては、新型コロナウイルス感染拡大下のため、全て Web 開催でのセミナー講習となったが、可能な限り全職員が参画し、準備を行った。

② 本院

医療事業の診療実績は、入院患者数の目標 1 日平均 152 名に対し、実績 155.4 名（前年対比 6.6 人増加）、外来患者数の目標 1 日平均 224 名に対し、実績 233.9 名（前年対比 13.4 人増加）と対目標値、対前年対比ともに達成することが出来た。

救急搬送数は、755 人（前年度比 211 名増加）、救急応需率も目標 70%に対して、74.8%（対前年比 2.9%増加）となり、二次救急病院の役割を高め積極的な受け入れに取り組んだ。

県南保健事務所の立入検査が 10 月 4 日に実施されたが、文書での指摘・指導事項はなく、口頭指導のみとなった。引き続き、院内の安全安心で質の高い医療体制の構築に努めて行く。

職員の資質向上については、各委員会や各部署職員が医療の質の確保・改善、医療事故防止等へ意欲的に取り組み、55 件の実績が報告された。

又、2021 年 2 月の地震被害に伴う、大規模改修工事、スプリンクラー設置工事を実施。その他、大型の設備投資としては、CT の更新を 12 月に実施した。

新型コロナウイルス感染対策の一環として、PCR 検査の積極的な検査増強に努め、年間実績は院内 PCR 検査 2,456 件、外注 198 件、合計 2,654 件、抗原検査は院内のみで、

475 件、両検査合計 3,129 件を実施した。陽性率は、118 件（3.8%）であった。

・健診センター

今年度は、人間ドックは延人数 1,559 名（前年対比+139 名）、一般健診は 5,902 名（対前年比▲329 名）、人間ドックに力を入れて増強に努めたが、一般健診は職員の退職が相次いだことも影響し、体制面の脆弱さが影響したことが大きな要因。しかしながら、稼働額全体では、178,347 千円（対前年比+1,834 千円）となり、人間ドックの増加が寄与し、微増となった。今後は、職員教育の育成指導を強化し、マニュアルの見直しやシステム構築の検証を行い、安定的な運営に努める。

・血液透析センター

今年度の延べ透析患者数は、10,026 名と前年度比 347 名の増加であった。年間 1 日平均透析患者数は 64.1 名で、外来透析患者数が前年度比 0.9 名増の 53.8 名、入院透析患者数が前年度比 1.3 名増加の 10.2 名となった。昨年度と比較し、当院での透析新規導入、他院から血液透析の紹介患者数は微増ではあったが、透析終了患者や他院への転院患者数がやや減少したことで、透析患者数が全体的には若干の増加となった。

③ すみれ訪問看護ステーション

看護師 3.5 人、リハビリ 2.8 人体制で訪問を実施し、目標は看護師、リハビリ共に 11 人/日であったが、実績は、看護師 10.2 人/日（前年比 3.6%増）、リハビリは 10.9 人（前年比 10.2%増）となり、ほぼ目標に近づいた。また、コロナ禍で思うようにスケジュールが組めないこともあったが、感染防止のためのマニュアルは徹底し、利用者・スタッフともにコロナ感染者は出なかった。

④ すみれ介護相談センター

ケアマネジャー4 名体制継続。2021 年 4 月に新人 1 名入職し 1 名退職で開始。全スタッフで新規獲得に努めるも月平均 115.5 名で昨年より月平均 10.9 件マイナスとなる。新規利用者は、47 名（前年より+5）、終了利用者数は、41 名（前年より-2）。2022 年 3 月時点では新人も実績 27 件となった。

⑤ 会田病院ヘルパーサービス

2020 年 7 月から休止。（2022 年 2 月 18 日付で 5 月 1 日を以って廃止の届出提出）

⑥ 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

2021 度は昨年の実績から実人数は 40 名/月、居宅管理指導件数は 50 件と目標を設

定し開始した。新規利用者 3.3 名/月と前年度より 0.9 名減少となったが、目標より実人数 51 名/月と 15 名の増加、居宅管理指導件数は 64.5 件/月と 12.8 件の増加と上回る事が出来た。自宅看取りも今年度は 7 件と増えている。利用者の入院の増加及び長期化、施設への入所、更にコロナ感染の影響もあり、訪問件数が少ない月もあった。

⑦ 会田通所リハビリテーション

介護士：9 名 リハビリ職：6 名にて実施

目 標：一日平均 35.9 名（一日コース：30.5 名 短時間：5.4 名）

実 績：一日平均 36.8 名（一日コース：30.0 名 短時間：6.8 名）

目標数は達成した。2021 年度は積極的に受け入れを行い、66 名の新規利用者がいたが、終了者も同等数いた。

令和 3 年度介護保険制度改正により、科学的介護推進体制加算（介護データの提出と介護サービスへの PDCA サイクル導入に対する加算）が新たにあり、情報管理課の協力により、12 月より算定することができた。

3. 収支報告

2021 年度医業収益は、約 2,964 百万円（前年対比+約 214 百万円）、当期正味財産増減額は、約 207 百万円（前年対比+54 百万円）となった。

総収入ベースでは、約 3,174 百万（前年対比約 295 百万）の増収。

今回は、地震被害の修繕費や CT の更新等、医業費用全体では、約 2,945 百万円と、前年対比+237 百万円増加となったが、入院外来患者数の増加や、スプリンクラー工事の補助金、新型コロナ関連の補助金等で、全体では、増収増益となる。

外来患者数は、1 日当たり、233.9 人で前年度対比 13.4 人増加、入院患者は、1 日平均 155.4 人で前年対比 6.6 人の増加となった。

健診部門は、今期は人間ドックの増加に努めた結果、人間ドックでは前年対比+139 人増加、一般健診で▲329 人となり、全体の 1 日平均利用者数 26.3 人の実績となり、前年対比▲1.3 人の減少となったが、人間ドックの収入が寄与し、年間稼働額総額では、前年対比+1,834 千円の増収となった。

又、救急応需率も年間救急要請件数が 1,000 件を超過したが、応需率は 74.8%と前年度対比+2.9%となり、救急受け入れ患者数も 211 人の増加となる。

一方、費用面では、人件費比率は、医業収益対比で 56.5%（前年対比▲1.9%）、総収入対比では、52.8%（前年対比▲3.0%）と改善している。

来年度に向けては、昨年から今年、2 年連続の地震被害により、追加の修繕工事等の費用増加が今後も想定されるが、医療従事者の安定的な確保や職員のスキルアップにも

注力し、地域医療への貢献を念頭にさらなる経営基盤の安定強化に努めて行く所存である。

4. 重要な契約に関する事項

当事業年度において

(1) 長期借入金契約

東邦銀行 矢吹支店	50,000,000 円
白河信用金庫 矢吹東支店	30,000,000 円
福島銀行 矢吹支店	20,000,000 円

(2) 重要な資産の売買契約

・ GeneXpert システム (PCR 検査機器)	4,840,000 円
・ 調剤システム・服薬システム	3,883,000 円
・ 給食システム	7,777,000 円
・ 全身用 CT 装置 Aquilion Prime SP	55,880,000 円
・ 造影剤注入装置 デュアルショット GX7	7,150,000 円
・ 全身麻酔器 1 台	5,756,400 円
・ 内視鏡支援システム Solemio QUEV	12,436,800 円
・ 勤務管理システム	1,254,000 円
・ 空気感染隔離ユニット	4,180,000 円
・ オンライン資格確認システム	4,488,000 円
・ 医療用画像システム (PACS)	19,800,000 円

(3) 重要な工事の発注契約

・ 病棟スプリンクラー (3・4・5 病棟) 設置工事	122,375,000 円
・ 令和 3 年 2 月 13 日地震被害修繕工事	91,190,000 円

5. 役員会等に関する事項

本年度の 5 月 6 月 3 月開催定例理事会・評議員会等は、新型コロナウイルス感染症の感染対策をとりつつ、次の通り開催した。

(1) 理 事 会

○ 定 時

- ① 開催日 2021 年 5 月 27 日（木）
- ② 開催場所 当院 3 階講義室
- ③ 議決事項
 - 第 1 号議案 2020 年度事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 2020 年度決算報告承認の件
 - 第 3 号議案 定時評議員会招集の件
 - 第 4 号議案 任期満了に伴う理事・監事選任案承認の件
 - 第 5 号議案 任期満了に伴う評議員選任案承認の件
 - 第 6 号議案 役員等の退職手当支給規程見直し[該当規程改定]の件
 - 第 7 号議案 退職理事に対する退職手当支給の件
 - 第 8 号議案 定款及び運営規則変更の件

○ 臨 時

- ① 開催日 2021 年 6 月 24 日（木）
- ② 開催場所 当院 3 階講義室
- ③ 議決事項
 - 第 1 号議案 代表理事（理事長）選定の件
 - 第 2 号議案 副理事長、専務理事選定の件

○ 定 時

- ① 開催日 みなし決議日 2022 年 3 月 28 日（月）
- ② 議決事項
 - 第 1 号議案 2022 年度事業計画案承認の件
 - 第 2 号議案 2022 年度収支予算案承認の件
 - 第 3 号議案 2022 年度借入限度額案承認の件
 - 第 4 号議案 2022 年度資産取得計画案承認の件
 - 第 5 号議案 会田病院ヘルパーサービス廃止について
 - 第 6 号議案 定款の変更について
 - 第 7 号議案 臨時評議員会（みなし）開催について

（2）評 議 員 会

○ 定 時

- ① 開催日 2021 年 6 月 24 日（木）
- ② 開催場所 当院 3 階講義室
- ③ 議決事項

第 1 号議案	2020 年度事業報告承認の件
第 2 号議案	2020 年度決算報告承認の件
第 3 号議案	任期満了に伴う理事及び監事選任の件
第 4 号議案	任期満了に伴う評議員選任の件
第 5 号議案	役員等の退職手当支給規程見直し（該当規程改定）の件
第 6 号議案	退職理事に対する退職手当支給の件
第 7 号議案	定款及び運営規則変更の件

（３）業務監査・会計監査に関する会議

①2021 年度 監事監査

開催日 2022 年 5 月 13 日（金） 場所 3 階講義室
内 容 業務監査、会計監査など

（４）その他

常勤理事による経営会議を偶数月の第 4 金曜日に開催した。

6. 診 療 報 告

○ 2021 年度の診療患者数は、次の通りである。

本 院

	2021 年度	2020 年度	前年比
外来患者総数	68,772 名	64,826 名	106.1%
一日平均	233.9 名	220.5 名	106.1%
新患者数	9,671 名	8,827 名	109.6%
入院患者総数	56,737 名	54,310 名	104.5%
一日平均	155.4 名	148.8 名	104.4%
新入院患者数	1,332 名	1,164 名	114.4%
退院患者数	1,337 名	1,167 名	114.6%

すみれ訪問看護ステーション

	2021 年度	2020 度	前年比
利用者実人数	1,093 名	955 名	114.5%
訪問延利用者数	6,248 名	5,840 名	107.0%

すみれ介護相談センター

	2021 年度	2020 年度	前年比
利用者実人数	1,386 名	1,500 名	92.4%
訪問調査	44 名	33 名	133.3%

ヘルパーサービス

	2021 年度	2020 年度 (4～6 月)	前年比
利用者実人数	0 名	35 名	-%
訪問延利用者数	0 回	598 回	-%

会田病院指定居宅療養管理指導事業所

	2021 年度	2020 年度	前年比
利用者延数	753 名	612 名	123.0%
一日当たり利用者数	2.50 回	2.07 回	120.8%

会田通所リハビリテーション

	2021 年度	2020 年度	前年比
延利用者数	10,819 名	10,103 名	107.1%
一日平均利用者数	36.8 名	34.2 名	107.6%

○ 本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、以下の通りである。

品 名	台数	部 署
GeneXpert システム (PCR 検査機器)	1	検査科
全身用 CT 装置 Aquilion Prime SP キヤノンメディカル	1	放射線
造影剤注入装置 デュアルショット GX7	1	放射線
シリンジポンプ 38 型 TE-381	10	病棟等
透析監視装置 TR-3300M	1	透析室
透析監視装置 TR-3300S	1	透析室

7. 医 師 人 事 報 告

○ 2021 年度の常勤医師の異動は、次の通りである。

【着 任】

2021 年	4 月 1 日	内 科	松 本 泰 輔
	10 月 1 日	内 科	本 間 俊 裕

【退 職】

2021 年	9 月 30 日	内 科	松 本 泰 輔
2022 年	3 月 31 日	内 科	本 間 俊 裕

8. 公 益 事 業 報 告

(ア) 育英事業

奨学金交付状況

○ 2021 年度の奨学生は、次の通りである。

- | | |
|------------------------|-----|
| ・ 国際医療看護福祉大学校 看護学科通信課程 | 1 名 |
| ・ 郡山看護専門学校 | 1 名 |
| ・ 那須看護専門学校 | 4 名 |
| ・ 東京工科大学 医療保健学部 看護学科 | 1 名 |

(イ) 公衆衛生協力事業

○ 社会福祉法人へ診療協力を実施した。

- ・ 社会福祉法人 恵愛福祉会 特別養護老人ホーム 寿光園
- ・ 社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 大信 聖・虹の郷
- ・ 社会福祉法人 創世福祉事業団 特別養護老人ホーム 表郷 聖・オリーブの郷

○ 矢吹町内小中高等学校 6 校、幼稚園・保育園 5 施設の内科健診、眼科健診を実施した。

○ 産業医として近隣市町村各事業所の産業安全衛生活動を実施した。(16 事業所)

- ・ 健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施
- ・ 管理栄養士による事業所訪問特定保健指導を実施 (5 事業所)

○ 人間ドック及び各種健診・保健指導を下記の通り実施した。

健 診 内 容	2021 年度	2020 年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	7 名	7 名	100.0%
日本病院会指定による一日人間ドック	1,552 名	1,413 名	109.8%
一般事業所健診	5,714 名	6,002 名	95.2%
白河市、西白河郡住民健診	188 名	229 名	82.1%
計	7,461 名	7,651 名	97.5%
特定保健指導	152 名	188 名	80.9%

- 献血事業協力のため 福島県赤十字血液センター及び矢吹町と協議し、年に 2 回採血協力を実施した。

実施日 2021 年 10 月 27 日、2022 年 3 月 9 日

- 院外での各種イベントは、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止。

但し、院内で 5 月 12 日看護の日、11 月 11 日介護の日のイベント実施。

- 地域住民を対象とする糖尿病教室・呼吸器教室・健康教室等中止。

(ウ) 研究研修事業

医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

・ 関連大学へ研究助成	3件	1,600,000 円
・ 関連各種学会へ事業援助	1件	200,000 円

○ 消防署救急医療実習受入状況

実 習 内 容	人 数
白河地方広域市町村圏消防本部 救急救命士資格取得後就業前の病院研修	16 名
白河地方広域市町村圏消防本部 救急隊長病院研修	0 名

○ 看護学生等の実習受入状況

職 種	学 校 名	人 数
看護学生	白河厚生総合病院附属高等看護学院	8 名
薬学生	奥羽大学	1 名

リハビリテーション科学生	国際医療看護福祉大学	1名
	仙台青葉学院短期大学	1名
	山形医療技術専門学校	4名
	郡山健康科学専門学校	3名
	医療創生大学	3名
	東北福祉大学	1名
介護支援専門員	当院職員	1名

○ 院内外研究発表（看護部）

院内研究発表

- ・演題 1 療養病棟における身体拘束に関するスタッフの意識調査
3病棟 吉田 ひとみ
- ・演題 2 一般病棟における認知症ケア加算の実態
4病棟 小原 雄大
- ・演題 3 エンゼルケアに対する家族の意識調査
5病棟 渡邊 彩実
- ・演題 4 内部自己管理判断チェックシート導入の効果
6病棟 阿部 美香
- ・演題 5 透析困難者の患者へ行動変容ステージモデルを用いたアプローチ
外来 清水 美里枝

院外研究発表

県南支部主催看護研究発表会

- ・演題 1 エンゼルケアに対する家族の意識調査 5病棟 渡邊 彩実

○ 教育研修事業（階層別研修を含む）

（人事関係）

開催日		研修名	
2021 年	4 月 14 日	新入職員（新卒者）研修	15 名
	7 月 1 日	中途採用者オリエンテーション	3 名
	9 月 4 日	主任・副主任研修	26 名
	9 月 11 日	課長～係長研修	18 名
	11 月 6 日	新人研修	12 名
	11 月 13 日	新人研修	14 名
	12 月 15 日	事務職員研修	11 名
2022 年	1 月 5 日	中途採用者オリエンテーション	5 名
	1 月 12 日	事務職員研修	12 名

○ 医療安全

医療安全研修（院外）

開催日		研修名	参加人数
2021 年	11 月 28 日	県医師会医療安全研修（web）	2 名
	12 月 23 日	福島県看護協会研修「医療安全管理者フォローアップ研修」	1 名

○ 感染対策

ICS 3 名（平成 21 年、25 年、28 年取得）

月 1 回の感染対策委員会、感染リンク部会、週 1 回感染対策チーム（ICT）で感染に対する指導、教育を行っている。また、白河厚生総合病院での合同カンファレンスに年 4 回参加している。医師、臨床検査技師、薬剤師、看護師の 4 名が参加し感染情報の共有に努めている。

感染対策研修（院内上期）

開催日	研修内容	看護部	他職員	合計
8 月 30 日～ 9 月 18 日	当院における新型コロナウイルス感染症対策について（当院作成した動画）	160 名	131 名	291 名
資料配布者		0 名	0 名	0 名

感染対策研修（院内下期）

開催日	研修内容	看護部	他職員	合 計
2 月 9 日～3 月 26 日	感染経路別予防策～院内全体で取り組む感染対策の基礎スタンダードプリコーション(e-ラーニング全体研修コース)	151 名	121 名	272 名

医療安全院内企画研修（全職員対象）

開催日	研修内容	参加人数
7 月 28 日～8 月 20 日	「2020 年度インシデント報告収集に伴う分析結果報告」	285 名
1 月 24 日～ 2 月 20 日	e ラーニング視聴「落ち着いてクレームに対するポイントを学ぼう」	275 名

○ BLS 研修

開催回数（6 月から 1～2 回/月実施）	参加人数
18 回	209 人（全職員の 75%参加）

○ 認知症院内研修

開催日	研修内容	参加人数
10月19日	認知症事例検討会	18名
2月～3月	e-ラーニング「認知症に対するアセスメントとケア」の視聴	86名

○ 会田病院認知症キャラバン・メイト活動内容

開催日	研修内容	参加人数
11月20日	認知症サポーター養成講座	27名 (院内27名)

○ 看護必要度評価者院内指導者研修

開催日	研修内容	参加人数
8月8日	看護必要度評価者院内指導者研修	1名
8月15日	看護必要度評価者院内指導者研修	1名

○ 2021年度 新人・プリセプター対象研修

	テーマ	参加者
4月2日	看護部オリエンテーション	10名
	感染対策	11名
	医療安全	11名
4月5日	e-非褥瘡三原則～つくらない！見逃さない！悪化させない！～	7名
	褥瘡対策	12名
	基本的ケア	10名
	排泄ケア	10名
	e-基礎から学ぼう！医療安全	8名
	e-事例動画で考え学ぶ KYT (危険予知トレーニング)	8名
集合研修	テーマ	参加者
4月5日	e-スタンダード・プリコーション（標準予防策） ～スタッフみんなでもう一度見なおそう～	9名
	e-感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	9名

4月6日	e-経口摂取を支える口腔健康管理と食事介助方法 ～看護師は何をする？～	8名
	e-バイタルサインから患者の現在と未来を見抜く	6名
	バイタルサイン	8名
	経管栄養	11名
	e-初めての吸引でも自信をもって行える ～患者が楽になる排痰・吸引ができる～	16名
	吸引の実技	17名
	血ガス機械の使い方	9名
	e-排泄ケアにおける感染予防 ～膀胱留置カテーテルと観血的導尿～	6名
4月7日	e-自信をもって取り組める！輸液ポンプ・シリンジポンプの 安全な操作と管理方法	4名
	e-転倒・転落への焦らない対処法 A t o Z ～要因別対応の仕方～	7名
	e-アラームにも慌てない！人工呼吸器の基礎をおさえよう	7名
	e-コミュニケーション・タイプ診断	9名
	人工呼吸器	8名
	e-1年目からはじめるメンバーシップ～チームで働くって なんだろう？～	6名
	e-三日坊主にならない入職後の学習方法	4名
4月8日	e-そこが知りたい！採血の手技と基礎知識	4名
	e-もうオロオロしない！ 皮下注・筋注の基本をマスターしよう	5名
	e-もうヒヤヒヤしない！静注の基本をマスターしよう	4名
	e-高齢者の「息苦しさ」をケアする	7名
	e-誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア	8名
	看護必要度	7名
	トランスファー ポジショニング 嚥下評価	10名
4月9日	e-あなたの看護記録は大丈夫ですか～何を残す？何を伝える？～	4名
	当院の看護体制 看護記録	8名
	ポートフォリオ	4名
集合研修	テーマ	参加者

4月9日	認知症患者加算	11名
	e-認知症患者に対するアセスメントとケア	8名
	e-認知症患者に対するコミュニケーションと療養環境の調整	8名
	酸素ボンベの使い方	8名
4月13日	オーダーリング 看護支援	10名
4月21日	安全な採血・静脈注射手技 輸液ポンプ・シリンジポンプ	7名
5月6日	緊急時の看護	10名
	e-新人看護師のあなたが知っておきたい急変対応	8名
	当院の医療 入退院支援室について	10名
5月7日	e-看取り期の患者・家族支援～がん終末期の症状緩和からお見送りまで～	3名
	医事課 薬剤科 検査科 栄養科	3名
	e-これから輸血を学ぶ、学びなおす看護師へ	3名
	e-ある看護師の完璧なる1日 ～タイムラインの作り方編～	3名
6月1日	e-心電図への苦手意識をなくそう～患者さんを見つめて学ぶ心電図モニタ～	3名
	心電図	3名
	e-ある新人看護師の完璧なる1日～日勤・夜勤編～	6名
	夜勤導入に向けて	6名
	ローテーション研修	3名
6月中	新人フォローアップ研修（3ヶ月）	3名
8月4日	e-安全で効果的な薬物管理のために看護師が身につけたいこと	3名
8月4日	新人フォローアップ研修（6ヶ月）	4名
12月11日	e-多重課題を理解する！事例で学ぶ優先順位とコミュニケーション	3名
	多重課題	5名
2月16日	新人フォローアップ研修（1年）	3名
	e-なりたい自分を想像しよう～先輩ナースになる前に出来ておきたいこと～	3名
合計		428名

○eラーニング研修（自己視聴）

	研修名	上期視聴人数	下期視聴人数
基礎習得コース	コミュニケーション・タイプ診断	1	2
	これから輸血を学ぶ、学び直す看護師へ	5	0
	そこが知りたい！採血の手技と基礎知識	1	0
	やさしく学べる！最新エビデンスに基づいた疼痛看護	1	4
	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な操作と管理方法	0	1
	排泄ケアにおける感染予防	2	4
	看取り期の患者・家族支援～がん終末期の症状緩和からお見送りまで～	2	3
	転倒・転落へのあせらない対処法 A to Z～要因別対応のしかた～	1	0
	初めての吸引でも自信をもって行える	2	0
	バイタルサインから患者の現在と未来を見抜く	12	4
	あなたの看護記録は大丈夫ですか～何を残す？何を伝える？～	82	8
	経口摂取を支える口腔健康管理と食事介助方法	2	3
	なりたい自分を想像しよう	0	3
	新人看護師のあなたが知っておきたい急変対応	9	3
	非褥瘡三原則～つくらない！見逃さない！悪化させない！～	14	7
	安全で効果的な薬物療法のために看護師が身につけたいこと	0	3
	心電図への苦手意識をなくそう	7	13
	アラームにも慌てない！人工呼吸器の基礎をおさえよう	3	10
	もうオロオロしない！皮下注・筋注の基本をマスターしよう	3	1
	もうヒヤヒヤしない！静注の基本をマスターしよう	2	1
	多重課題を理解する！事例で学ぶ優先順位とコミュニケーション	1	5
	ある新人看護師の完璧なる1日～日勤・夜勤編～	2	2
	ある新人看護師の完璧なる1日～タイムラインのつくり方編～	1	2
	3日坊主にならない入職後の学習方法	0	1
中堅コース	呼吸器系のフィジカルアセスメント	23	1
	患者のQOL向上につながる排尿自立のエッセンス	3	3
	チームで支援する術後回復促進策	1	4
	オーラルフレイル/口腔機能から考える「食べること」	6	4

	知って安心、成人てんかんへの対応	3	5
	がん薬物療法の基礎知識を使って、看護計画を立てる	2	3
	急性増悪に強くなる！ 慢性呼吸不全の最新ケア	5	5
	看護の質向上のための業務改善	3	4
	妊娠と糖尿病の基礎知識とケア～妊産婦と家族を支える連携～	1	1
	初めての手術室 ～見て渡して覚える器械出し看護～	4	1
	地域と連携して子ども虐待をケアする	1	2
	看護師のためのやさしくわかる胸部 X 線教室	43	3
	知っておきたい LGBT/SOGI	4	2
	実践に活かせる心不全看護のポイント	49	6
	これでもう迷わない！ 急性期におけるせん妄対策パーフェクトガイド	9	10
	セルフマネジメントの力を引き出す糖尿病看護	5	34
	関節可動域訓練（ROM 訓練）	1	3
	急性腎障害のケアのための知識と技術を身につける	4	39
	退院後の「暮らし」を支える訪問看護を知る	17	2
	ワンステップ上の人工呼吸管理を身につける	2	18
	小児のクリティカルケア	0	2
	頭部 CT・MRI 画像から考える脳卒中看護	5	17
	重症心身障害児者の「食べる力」を支える栄養ケア・口腔ケア	1	2
看護管理 コース	部下のやる気を高める目標設定と面談の活用	5	0
	看護スタッフが惹きつけられる魅力的な病院づくり	1	3
	コンピテンシー・モデルを用いた看護管理者の育成-1	1	1
	コンピテンシー・モデルを用いた看護管理者の育成-2	0	1
	がんばれ新米リーダー！ 初めての現場マネジメント	5	2
	多様なメンバーが働き続けられるために	4	2
	看護管理者に求められる暴力・ハラスメント対策	5	1
	効果的な入退院支援が生み出す効率的な病床管理	4	3
看護共育 コース	1 年目からはじめるメンバーシップ～チームで働くってなんだろう	1	2
	学習者を伸ばすシミュレーション教育の基本	1	0
	怒らない、怒らせないかわり方～配慮が必要なスタッフへの対応～	2	2

	「ありがとう」のあふれる組織をつくる目標管理	2	0
	ティーチング・コーチング・ファシリテーションの基本	1	2
	プリセプターマインド～後輩とともに成長するための心構え～	2	1
	自分も相手も尊重するアサーション	0	2
	インストラクショナル・デザイン	0	1
看護必要度コース	一般急性期病棟編：看護の質向上のための重症度、医療・看護必要度の評価ポイント	3	0
	回復期リハビリテーション病棟編：重症度、医療・看護必要度の評価ポイント	1	0
認知症コース	<事故防止編>認知症患者の看護に必要な医療安全	4	1
	<倫理編>認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	3	3
	<医学編 1>認知症の原因疾患と病態・治療	0	2
	<医学編 2>認知症とせん妄-症状と心理状態を知る	1	5
	<看護編 1>認知症患者に対するアセスメントとケア	1	85
	<看護編 1 事例動画>認知症患者に対するアセスメントとケア	0	18
	<看護編 2>認知症患者に対するコミュニケーションと療養環境の調整	3	7
	<看護編 2 事例動画>認知症患者に対するコミュニケーション	0	5
	高齢者の「息苦しさ」をケアする	2	4
	誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア	8	3
	脳卒中看護の基本を学ぶ	0	1
	骨粗鬆症をケアするために～寝たきりにさせない高齢者看護～	1	2
院内全体研修コース	質の高いチーム医療 ～多職種とのコミュニケーション～	0	5
	災害発生時の初動体制～病院での対応～	0	2
	医療職に必要な「社会人基礎力」の育て方	0	2
	これもハラスメント？ 正しい理解と適切な対応法	2	3
	虐待から患者を守る～医療者にできる虐待防止～	1	1
	基礎から学ぼう！ 医療安全	3	2
	多職種で取り組む転倒・転落、ヒヤリハット防止	1	4
	チーム医療とは何ですか？ 何ができるとよいですか？	2	1
	スタンダードプリコーション（標準予防策）～スタッフみんなでもう一度見直そう～	7	9

	感染経路別予防策～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	0	102
	知っておきたい薬剤耐性菌の基本と対策	2	2
	流行期に備えるインフルエンザ対策	0	3
	これだけはおさえておきたいノロウイルス対策	1	4
	臨床倫理入門	0	1
	事例から考える臨床倫理～がん末期の患者、最期の場面をどこで迎えるか～	2	3
	看護職のための臨床倫理と意思決定支援～事例から考える立ち止まる倫理～	18	2
	チーム医療におけるタスクシェア	2	3
	これからの栄養サポートチームにおける多職種協働	0	1
	災害を理解し、これからの医療体制をつくる	0	1
	医療ガスを安全に使用するために	0	96
	医療職のメンタルヘルスをケアするストレスマネジメント術	1	0
	接遇マナーの基本「あいさつ」で変わるおもてなしの心	0	101
	落ち着いてクレームに対応するためのポイントを学ぼう	0	105
看護研究コース	コースオリエンテーション～看護研究をはじめるために～	1	0
	倫理的配慮の基本	1	0
	研究テーマの絞り込み	1	0
	よりよい看護ケアのためのケーススタディ（事例研究）	1	0
	発表で気をつけること、おさえるポイント	0	1
	文章の書き方～人に伝わる文章を書くコツ～	1	0
	文献はなぜ読むの？ どう探すの？	1	1
	院内発表につなげる気づき	3	0
	研究計画書を作成する	0	1
視聴人数合計		457	866

○ エイド集合研修

開催日	研修内容	参加人数
4月16・23日	排泄ケア概論	11名
5月7・9日	車椅子・ストレッチャー乗車体験（通所・4病棟）	12名
5月17・18・21・28日	車椅子・ストレッチャー・スライディングボード乗車体験（3病棟）	12名
5月26日	車椅子体験（外来）	2名
6月20日	車椅子・ストレッチャー乗車体験（5病棟）	4名
6月22日 7月6日	研修必須15項目研修	38名
6月25日	シーツ交換研修（外来）	6名
9月8日	接遇技術向上（倫理観）	17名
2月27日	おむつの当て方（4病棟）	5名

○ 患者サービスに関するイベント・ボランティア等

3・6病棟矢吹図書お話会（読み聞かせや指運動等）は、中止。

○ 病棟レクリエーション

	開催日	部署	内容	参加人数
2021年	8月10日	6病棟	夏祭り	患者30名・職員5名
	8月20日	3病棟	夏祭り	患者18名・職員10名
	10月5日	6病棟	運動会	患者33名・職員5名
	12月14日	6病棟	クリスマス会	患者32名・職員5名
	12月17日	3病棟	クリスマス会	患者20名・職員14名
2022年	2月3日	3病棟	節分	患者44名・職員4名
	2月4日	6病棟	節分	患者28名・職員7名
	3月4日	3病棟	ひな祭り	患者20名・職員14名
	3月23日	3病棟	春祭り	患者34名・職員5名

(エ) 救急医療活動

- 救急医療に対し、救急告示病院として全日救急患者受け入れに対応した。

当地区病院群輪番制病院運営事業に第二次救急医療機関として、積極的に地域救急医療に協力した。

2021 年度 救急搬送診療応需状況

	要請件数	うち応需件数	応需率
白河広域圏 (内 矢吹町)	741 件 (264 件)	592 件 (230 件)	79.8% (87.1%)
須賀川地方広域圏他	268 件	163 件	60.8%
合計	1,009 件	755 件	74.8%

9. 設備改修工事等報告

2021 年度に実施した工事は、以下の通りである。

- スプリンクラー設置工事 (2020 年度からの継続)
- 病棟エアコン室外機部品交換工事
- 2021 年 2 月 13 日発生福島県沖地震被害復旧工事 (2020 年度からの継続)
- 2022 年 3 月 16 日発生福島県沖地震被害復旧工事

10. 労使関係報告

- 特に無し

11. 庶務事項報告

- 防火避難訓練・防災訓練を次の通り実施した。

2021 年	6 月 19 日 (土)	(防火部分訓練)
	7 月 19 日 (月)	(防火部分訓練)
	8 月 24 日 (火)	(防火部分訓練)
	11 月 10 日 (水)	(防火総合訓練・基礎訓練)
2022 年	3 月 30 日 (水)	(防災訓練)

○ 2021 年度の外部団体並びに当法人からの職員に対する表彰は、次の通りである。

2021 年 6 月 9 日 2021 年度 矢吹町商工会

優良従業員表彰

佐久間 公司
桑 名 重夫

2022 年 1 月 4 日 2021 年度 永年勤続者表彰式（当法人）

永年勤続表彰 30 年

佐久間 十紀子

永年勤続表彰 20 年

小林 敏明

高久 歩美

星 淳一

永年勤続表彰 10 年

小濃 順子

近藤 宏美

黒田 優樹

中澤 淳

野崎 有子

渡部 直也

小林 裕人

白石 源一郎

相田 さゆり

佐久間 一美

永沼 俊一

12. 主要記事

2021 年 04 月 01 日	新入職員入社式並びに辞令交付式
04 月 14 日	新入職員研修
05 月 13 日	会計監査(現物照合・三部会計事務所にて) 監事監査
05 月 27 日	定時理事会
06 月 09 日	矢吹町商工会表彰（院内表彰）
06 月 24 日	定時評議員会 臨時理事会
06 月 30 日	矢吹小学校 1 日職場体験

07 月 01 日	中途入職者オリエンテーション
07 月 07 日	高校生 1 日看護体験
09 月 04 日	主任・副主任研修会
09 月 11 日	課長・係長研修会
10 月 01 日	辞令交付式
10 月 04 日	令和 3 年度保健所立入調査
10 月 27 日	献血活動
11 月 06 日	新人研修会
11 月 10 日	防火総合訓練・基礎訓練
11 月 13 日	新人研修会
12 月 15 日	事務職員研修会
2022 年 01 月 04 日	永年勤続者表彰式
01 月 05 日	中途採用者オリエンテーション
01 月 12 日	事務職員研修会
03 月 16 日	福島県沖地震災害対応
03 月 19 日	献血活動
03 月 28 日	定時理事会
03 月 30 日	防災訓練